ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

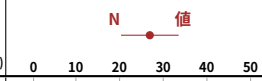
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	B-1	調査位置				北　緯	36 ° 34 ’ 23.5776 ”
発注機関	栃木県真岡土木事務所			調査期間	2010-08-19 ～ 2010-08-23	東　経	140 ° 08 ’ 38.6091 ”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	168.72 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 20.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	7.45 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1 2	166.22	2.50	2.50		ローム (Lm)	褐			粘土化した火山灰土である。 0.00～1.00mは木根、木片を含み乱されている。 1.00～2.50mは均質である。		
3 4 5	163.07	3.15	5.65		旧崖錐堆積物 (Tl)	褐 褐灰			[2.50]礫混じり粘性土である。 2.50～3.30mは強風化安山岩礫を含む、ローム質粘性土。 [3.30]3.30～5.65mは部分的に弱風化暗山岩礫を含む。 4.50～5.65mは安山岩礫を多く含む。		08/20
6 7	161.27	1.80	7.45		凝灰岩 (Tf)	黄灰			無水掘削で表面は粘土化しているが岩の組織を残す。 細粒である。塊状である。		08/21

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	1	1	3／30	3
1.45					
2.15	1	1	2／13	4／33	4
2.48					
3.15	2	2	3	7／30	7
3.45					
4.15	2	2	2	6／30	6
4.45					
5.15	4	3	4	11／30	11
5.45					
6.15	5	4	6	15／30	15
6.45					
7.15	8	11	13	32／30	32
7.45					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日